



2019年 3月期 第3四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2019年2月7日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2019年3月期 第3四半期決算 ハイライト

単位：百万円	前年同期	当第3四半期 累計期間	増減
売上収益	12,291	11,138	▲ 1,153
営業利益（▲損失）	▲ 257	133	+ 390
親会社の所有者に帰属する当期利益（▲損失）	▲ 403	▲ 335	+ 68
資本合計	457	671	+ 214

■ 売上収益

- 主として前年同期の情報機器の大型受注案件が当連結累計期間はなかったこと、およびその他セグメントの売上収益の減少により、全体として▲11.5億円の減収

■ 営業利益

- 引き続き売上総利益率の改善、前期に実施した固定費削減等の損益分岐点低減施策の効果、また介護記録システム事業の譲渡（2018年5月8日開示）による譲渡益2.9億円の計上も加わり営業黒字

■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

- 円安に伴う為替差損は発生したものの、営業利益の大幅な改善に伴い、親会社の所有者に帰属する当期利益（損失）は改善

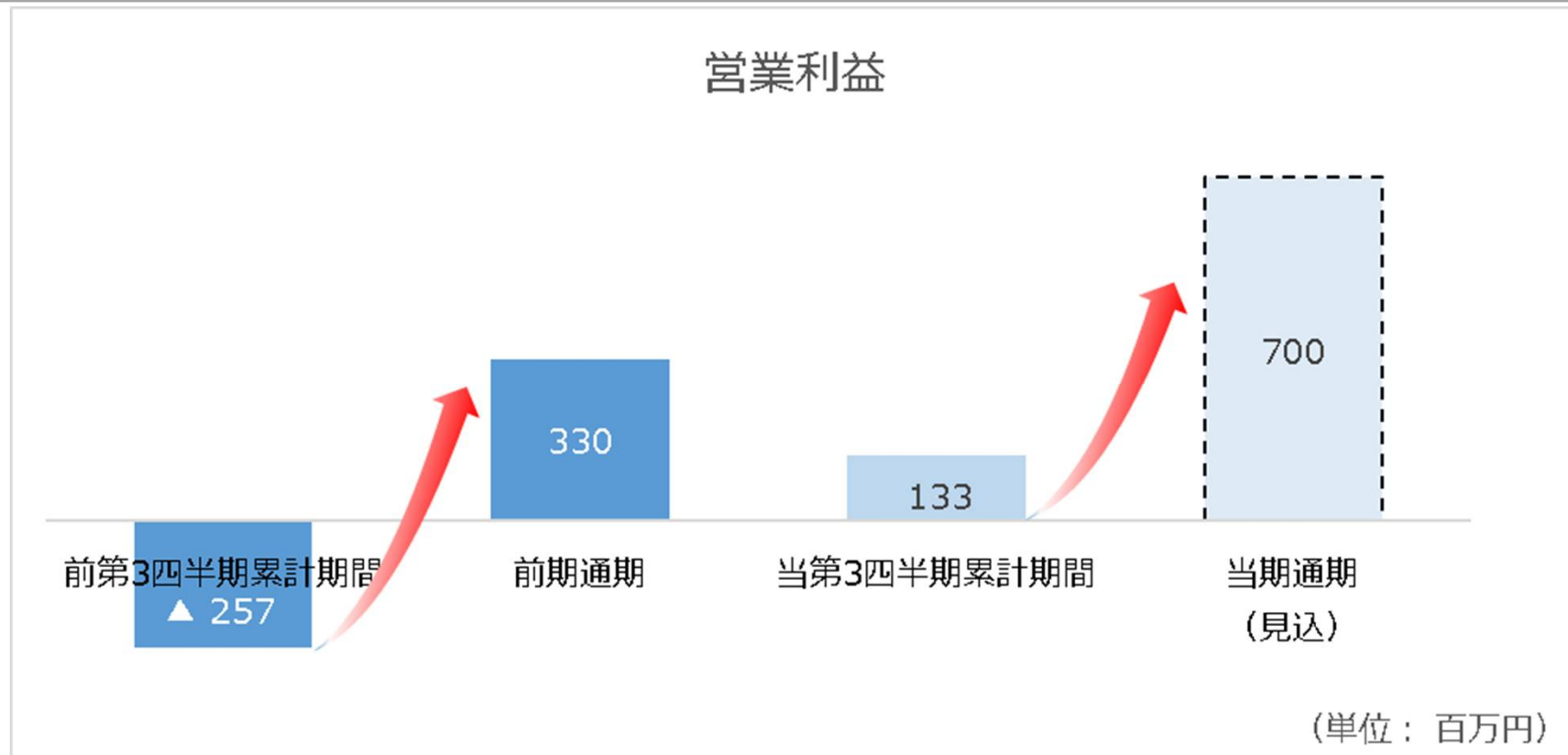
■ 資本合計（純資産）

- 前年同期末に4.6億円であった資本合計（純資産）は当第3四半期末は6.7億円と2.1億円増加

営業利益

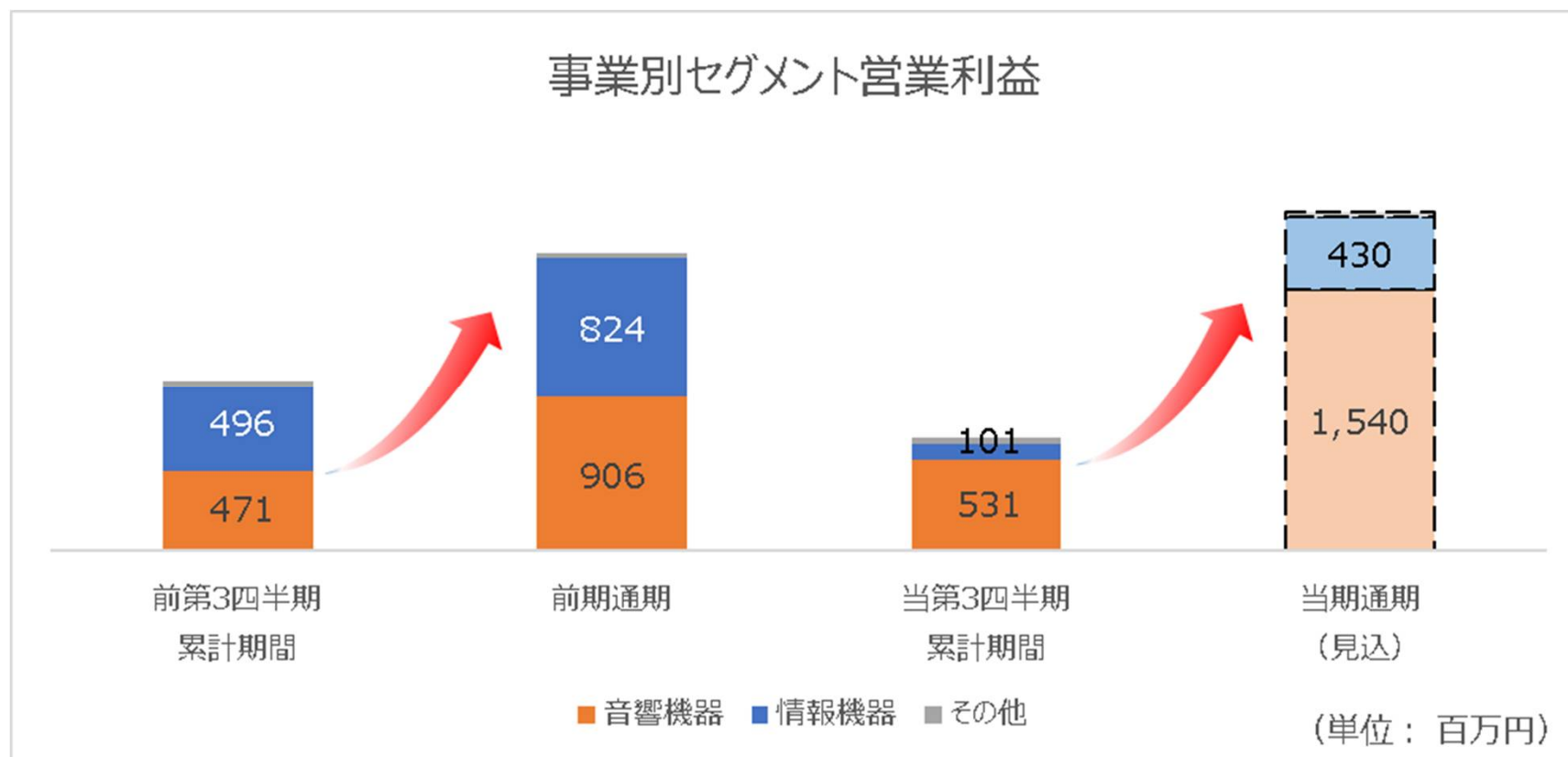
- 営業利益：減収となったものの、前期に実施した損益分岐点低減施策、介護記録システム事業の譲渡の益により営業利益は大幅改善し、第3四半期累計期間で黒字化。通期増益を見込む。

なお、当社グループの業績の特性は、季節要因により売上、利益とも第4四半期会計期間に集中する傾向があり、また音楽制作・業務用オーディオ機器、情報機器とも複数の新製品による販売拡大を予定している。

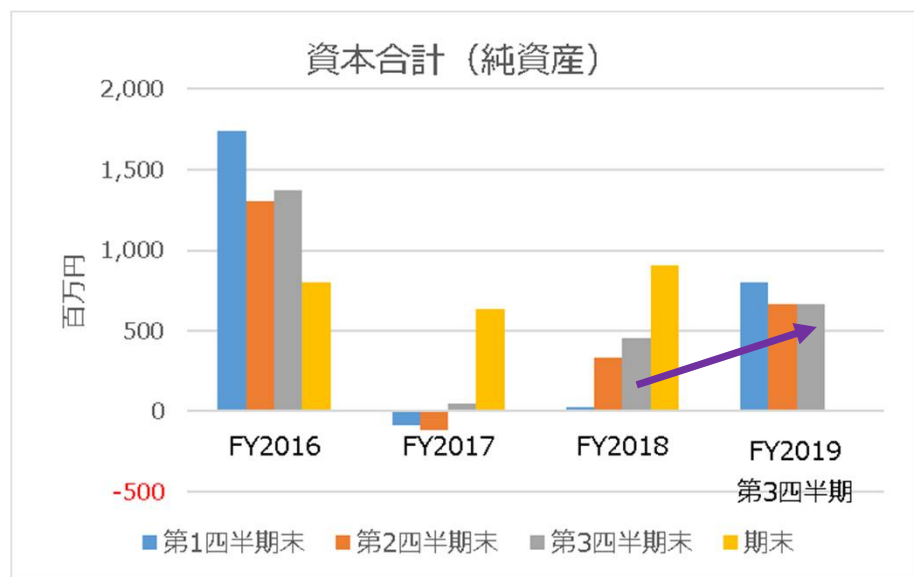
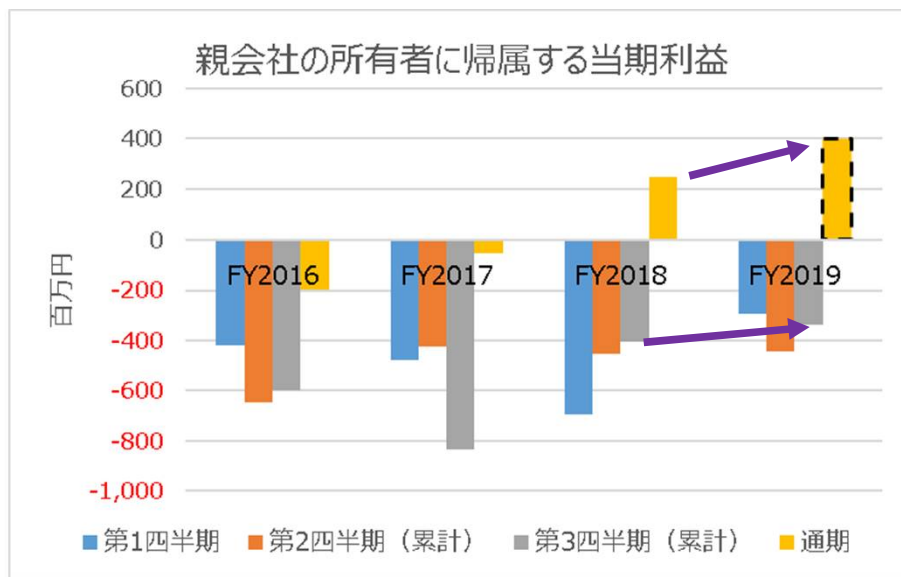
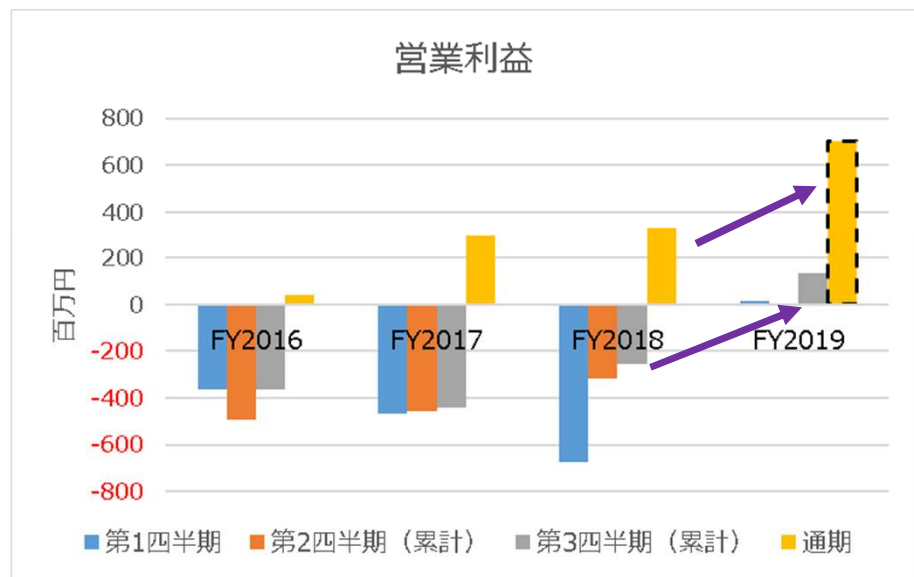
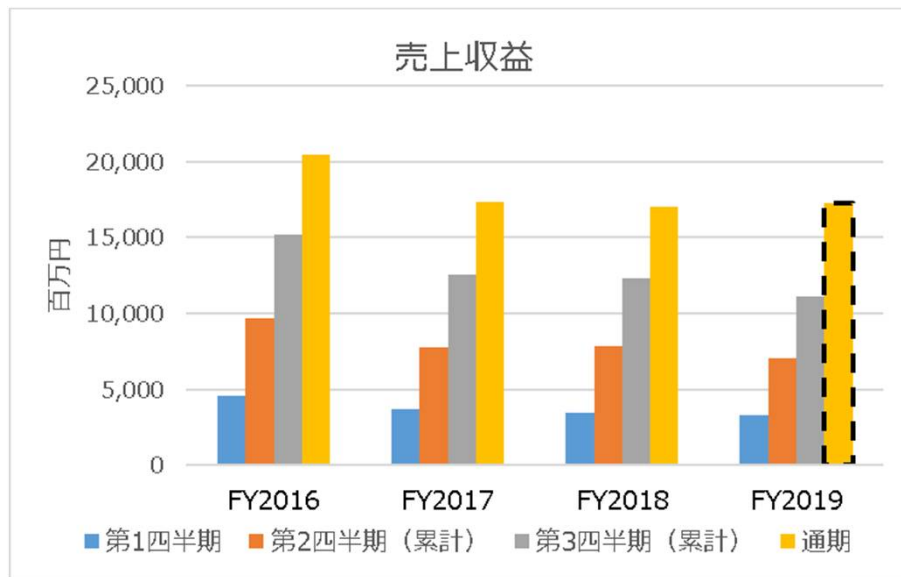


事業別セグメント営業利益

- **音響機器**：第3四半期累計期間は減収となったが、売上総利益率の改善、固定費削減等によりセグメント営業利益は増益。新製品の投入、BtoB事業へのシフトを加速させ、通期で増益を見込む。
- **情報機器**：第3四半期累計期間は減収によりセグメント営業利益は減益。前期は複数の大型プロジェクトによる増益があったが、当期は大型プロジェクトはないことから、通期も保守的に減益を見込む。



売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



トピックス 1

■ 一般オーディオ機器 TEAC

株式会社音元出版様主催で実施されました「VGP 2019」において、Roonに正式対応した USB DAC/ネットワークプレーヤー NT-505とフォノアンプ内蔵アナログターンテーブルTN-350が金賞を受賞しました。



ネットワークオーディオプレーヤー
(10万円以上30万円未満)
USB DAC / ネットワークプレーヤー
NT-505



アナログレコードプレーヤー
(5万円未満)
フォノアンプ内蔵アナログターンテーブル
TN-350

■ 高級オーディオ機器 ESOTERIC



SACDプレーヤー 『K-07Xs』

ESOTERICの人気SACDプレーヤー、Kシリーズの新機種『K-07Xs』を2018年11月より販売開始いたしました。

Kシリーズ一体型SACDプレーヤーの第3世代となるK-07Xsは、Grandioso K1のテクノロジーを余すところなく凝縮したモデルです。VOSPスーパーオーディオCDトランスポートメカニズム、高剛性アルミシャーシなど、定評のコンストラクションはそのままに、K1の最新プラットフォームを踏襲したD/Aコンバーター、最新のデジタル回路、強力な出力バッファアンプと電源部を備えた充実の内容を誇っています。

トピックス 2

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 TASCAM



『DP-008EX-OT』

日本を代表するアーティスト奥田民生さん(以下敬称略)の世界観をモチーフにデザインした、8トラックデジタルMTR『DP-008EX-OT』を限定販売いたしました。特典として付属しているデモソング「働く男」は奥田民生が全ての楽器を演奏し、『DP-008EX-OT』で録音したマルチトラック音源を収録しています。楽器演奏をされない方でも、『DP-008EX-OT』だけに収録された、特別な演奏をマルチトラックで聴き分けて楽しむことができる、ファンにはたまらない特典音源です。多重録音の歴史を作ったTASCAMと、多重録音を新たなステージへ進化させ挑戦し続ける奥田民生との歴史的コラボレーション製品はファン必携のスペシャルなデジタルMTRとなっています。

■ 情報機器 TEAC



『LX-1000シリーズ』 16chモデル

自動車、鉄道などの車載計測、電力、その他分野における音振計測や汎用計測における小型で広帯域・多チャンネルのデータ収録装置、インテグレートドログガーLX-1000シリーズを、2018年11月に発表しました。

LX-1000シリーズは、従来製品のLX-100シリーズと比べ価格は据置きながら機能・性能面を大幅に改善したこと、また入力アンプをモジュール化することでユーザーによるシステムインテグレーションが容易に行えることが大きな特長です。従来機 LX-100シリーズから改善・アップグレードしたLX-1000シリーズにご期待ください。